

令和6年度 第3回 積志小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年10月11日（金） 13時40分から15時30分まで
- 2 開催場所 積志小学校 会議室、5年2組教室
- 3 出席委員 渥美 年弘、村田富佐子、小林 博典、高林 亜衣子、竹内 涼子、市川 和廣、森川 学、伊達 麻絹、尾上 幸穂
- 4 欠席委員 高林 次枝
- 5 オブザーバー 小池 誠（積志協働センター）
- 6 学 校 佐藤 匡子（校長）、矢作 実（教頭）、児玉 健一郎（主幹教諭）
森山 貴史（CS担当教諭）、杉浦 浩（CSディレクター）
- 7 教育委員会 牧野 知子（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 杉浦 浩

10 協議事項

- 5年生児童との意見交換をして、地域・保護者としてできること

11 会議記録

司会から、委員総数10人中9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）議長の選出について

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、会長から竹内委員を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（2）5年生児童との意見交換をして、地域・保護者としてできることについて

議長の指示により、CS担当から、別紙資料に基づいて5年2組国語科「よりよい学校生活のために」の授業参加について趣旨説明があった。児童との意見交換では、

① 理想の学校や楽しい学校になるために必要なこと

② 学校生活がよりよくなるために、先生以外の大人のどんな手助けがあったらいいか

というテーマのもと、各委員は5年2組の教室で5つのグループに分かれて、児童の意見を聞いたり、話し合いに参加したりした。

その後、各委員は、2つのグループに分かれ、児童との意見交換で話し合った内容について情報共有した。

【Aグループ：渥美委員、竹内委員、村田委員、小林委員、尾上委員】

【Bグループ：市川委員、伊達委員、高林委員、森川委員】

Aグループ

- ・ 多くの子供たちから、防災関連の話が出ていた。避難訓練の時に、ガラスの代わりに発砲スチロールなどをまいて、危険な場所を知る体験があったらよいという意見があった。
- ・ 学校内の環境をもっとよくするために、草取りをしたり、家庭科室の掃除をしたりするのもよい。
- ・ 図書室を2階だけではなくその他の場所にも広げて、本を借りられる場所があると、本を読む機会が増えるのではないか。

Bグループ

- ・ 避難経路図に、学校内の危険な場所が分かるように工夫するとよい。
- ・ 給食時の放送の内容を、もっと増やしたらどうか。また、給食時に流れる音楽も、自分たちで決めてみるのもよい。
- ・ 12月に行われる地域防災の日には、中高生だけでなく、小学生も参加できるようにしてみてもどうか。

その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和7年 2月14日（金）14時から積志小会議室で開催する旨の報告があった。